

みんなの文芸



俳句

ことぶき俳句会

頑固さの少しゆるみて秋刀魚焼く
刈り終えて鶴のおりたつ黍畑
秋蛙の網入れまへの漁霊祭
金婚の間合いほどよくとろろ汁
日中の半袖さむく着替え持つ
せきれいの一身ささげ振る尾かな

稲田 文江
大山みどり
長谷川アキ
福原 仁子
渡邊 道
高橋 悦子

川柳

浦幌川柳会

虫の声いつしか亡母のすすりなき
奇跡など縁なきものと我は老い
凡才が頭抱えて万馬券
デイの友昨日の出逢い別れとは
満開のラン母さんの笑顔見え
昨日より笑える位置で釘留め

柴田 弘子
星 愛子
加藤 未貴
橋本 葉子
山村 幹雄
阿部 麗紅

川柳

上浦幌句の会

健康は働く人の宝なり
今もなを心に残る原爆か
階段を数えて上下ぼけ防止
かけた網狐より先に我の足
夫婦バエ家賃払わず家の中
狐よけの網に自分が足からむ
透明の水を求めて蛙群がる
小さな秋ほおずき熟れて一人聞

高橋 幹雄
笹島カヨ子
河村みよ子
芳川 乙美

短歌

心友愛会

疲れたよ財布無くして六日間
ようやく見つけ今夜は眠る
敬老会私を祝い子等集まり
喜ぶ姿と寂しさ残る
未だまだ無情の風を歩いてる
昔と違い人も変わわりて
コスモスがそよ風に誘われ
ダンスをしている楽しく見てる
今月で会の楽しみ温泉行き
湯に浸かり後ご馳走食べて
買物物一人暮らしの纏め買い
足を労り自転車押しして
親思い娘たちから差し入れが
何時も心の温もり知る
冬仕度漬け物たるが増えていく
気を配りつつ友にもあげよ
小首をば傾けて見てるコスモスは
秋を惜しみ競い咲いている
秋桜よどこそこ庭に咲き乱れ
風にしなやか舞まいいてや
風に舞う色つき競う落葉たち
哀愁誘う澄み渡る空

長屋美代子
小澤 つや
堀井あやの
前川 静江
小川 房子
山久保敬子
角田美代子
浅野 京子
山岸 明美
佐藤 成子
星 愛子

編集後記

■9月28日のふるさとのみ
のりまつりには、今年も大
勢の来場者がありました。
町民の皆さまのご協力に感
謝し、記念すべき40回目と
なる来年の祭りがさらに盛
り上がるよう、広報として
も力を尽くしたいと思いま
す。

■御嶽山の噴火や台風で尊
い人命が失われています。
北海道は火山が多く、台風
もたびたび大きな被害を出
しています。改めて、災害
への備えを確認したいと思
います。

■広葉樹の紅葉は終わりに
近づいていますが、11月は
カラマツの紅葉が美しい季
節。日々寒くなりますが、
秋の景色を楽しみながら冬
に備えていこうと思います。
(大)

■掲載された写真は、差し
上げますので(本人または
家族)、お気軽にご連絡く
ださい。